

令和3年3月17日

令和3年度（A）および令和4年度（B）

奈良女子大学博士号取得支援SGCフェローシップ募集要項

奈良女子大学 大学院人間文化総合科学研究科

奈良女子大学博士号取得支援SGCフェローシップ運営委員会

1. 募集概要

本学は、文部科学省の令和2年度科学技術人材育成費補助事業である、科学技術イノベーション創出に向けた大学フェローシップ創設事業の実施機関に採択され、「奈良女子大学博士号取得支援SGCフェローシップ」を創設しました。この制度は、優秀な女子学生が経済的負担や学位取得後のキャリアパスに過大な不安を抱えることなく、博士後期課程へ進学し研究できる体制を構築することを目的としています。このフェローシップでは、3年間の修業年限内で博士の学位を取得し、学位取得後のキャリアへのスムーズな移行が可能となるよう、研究力の向上やキャリアパスの確保へ向けた支援策が計画されています。申請者におかれましても、主・副指導教員の方々と十分相談の上、上記の目標が達成可能となるよう、入念な研究計画を立て、自己研鑽に励んでいただくことが求められます。また、指導教員の方々には、上記修業年限内での学位取得に向けた支援体制について、一層の強化をお願いしております。

本学は、教育研究の理念「男女共同参画社会をリードする女性人材養成」に基づき、令和2年度に博士後期課程の全面的な組織改編を行いました。この組織改編では、専門知識に加え、物事を俯瞰する力の育成を強化することで、より高度な主体的判断力・主体的行動力・課題発見力を身につけ、答えのない問題に挑戦していくことのできる女性人材を育成することに力点をおいています。その延長線上には、社会の指導的地位につく女性として、“ガラスの天井”を打ち砕く（Shattering the Glass Ceiling=SGC）姿が期待されています。

以上の趣旨に則り、令和3年度および令和4年度のSGCフェローシップ希望者の募集を以下のとおり行います。

2. 申請書受付期間 令和3年4月6日（火） ～ 4月9日（金） 12：00 締切

3. 募集人数 A:令和3年度春季入学者 6名
B:令和4年度春季入学者向け入学試験受験予定者 4名以内

4. 申請・受給資格

- A. 令和3年4月に本学大学院博士後期課程に入学し、入学時に30歳未満の者（**注1**）。ただし、社会人（**注2**）および社会人経験者、国費留学生および本国から奨学金等の支援を受けている留学生、独立行政法人日本学術振興会特別研究員、他機関に所属する者、長期履修学生は対象外とします（**注3**）。また、受給期間中に、前文のいずれかに該当することとなった場合は、受給資格を失うものとします。
- B. 令和4年4月に本学大学院博士後期課程へ入学を志望する入学試験受験予定者で、入学時

に30歳未満の者（注1）。ただし令和4年4月時点で、社会人（注2）および社会人経験者、国費留学生および本国から奨学金等の支援を受けている留学生、独立行政法人日本学術振興会特別研究員、他機関に所属する者、長期履修学生のいずれかになることが確定している者は対象外とします（注3）。また、受給期間中に前文のいずれかに該当することとなった者、あるいは実際に本学博士課程に入学しなかった者は、受講資格を失うものとします。

（注1）出産・育児等のライフイベントを経た者については、個別の事情に応じ、2年を限度として、この年齢要件を緩和します。この年齢要件の緩和を希望する申請者は、様式3にその事由を記入して、申請書とともに提出してください。

（注2）経常的な収入を得る仕事に就いている者、および主婦を指します。

（注3）授業料免除、授業料を援助するための奨学金の受給などとの重複は認められません。

（参考）今回の募集とは別に、令和3年度秋季入学予定者対象の募集を令和3年9月（定員1名）に、令和4年度春季入学予定者対象の募集を入学直前の令和4年3月（定員2名；ただし令和3年4月の募集に欠員がある場合には、その数を繰り入れます）に、令和4年度秋季入学予定者対象の募集を令和4年9月（定員1名）に実施します。

5. フェローシップ支給対象学生の義務

1) 現況報告書の提出

研究活動の取組状況を半期毎に報告し評価を受けること

2) フェローシップと関連する授業の履修

フェローシップ受給開始後2年目終了時まで、博士後期課程大学院共通科目の「自己分析・ワークスタイルセミナーA・B・C」「キャリアセミナー（ビジネススキル・インターンシップほか）A・B・C」（各1単位）の中から1単位以上を履修すること

3) メンターチームとの面談

半期毎にメンターチームとの面談に臨むこと

4) 研究成果発表

フェローシップ受給開始後3年目終了時まで、公開での研究成果発表を実施すること

なお、上記義務の履行状況については、奈良女子大学博士号取得支援SGCフェローシップ運営委員会で確認し、義務の履行状況に問題があると判断された場合には、フェローシップ受給資格を喪失したものと扱い、再募集による欠員の補充を行います。

6. 支給額と内訳

本学博士後期課程入学時から210万円/年（うち研究専念支援金：192万円/年、研究費：18万円/年）を原則として3年間支給します（注4）。ただし、年度毎に研究費の未使用額が発生した場合には、その未使用額を返却していただくことになります。

（注4）早期卒業者については学位取得期末まで、欠員が生じた場合の追加募集で採択された者については、フェローシップ採択時以降、標準修業年限内での学位取得期末まで支給します。

7. 申請書類

申請書類の様式は10. に問い合わせせて取り寄せてください。

8. 選考方法

申請者に申請書（履歴、研究活動実績、研究計画等を含む；様式1）の提出を求めるとともに、併せて指導教員等からの推薦書（様式2）の提出も求め、必要に応じて面接（申請者による口頭発表を含む）を実施し、これらを総合して選考を行います。なお面接を行う場合、令和3年4月19日（月）～4月24日（土）の期間中に実施予定です。また審査結果は、4月下旬に電子メールにより申請者に直接連絡します。

9. 申請書・推薦書等の提出方法および提出先

【申請書】

- ・申請書類は、PDFファイル形式で保存し、添付ファイルで下記宛先まで電子送信してください。
- ・申請書のファイル名を「〇〇〇〇-202104SGCFS申請書」（〇〇〇〇は申請者氏名）としてください。様式3も添付する場合、ファイル名を「〇〇〇〇-202104SGCFS申請書-様式3」としてください。
- ・送信メールの件名を「〇〇〇〇-202104SGCFS申請書」としてください。

【推薦書】

- ・推薦書は、推薦書作成者がPDFファイル形式で保存し、添付ファイルで直接、下記宛先まで電子送信していただけるよう、申請者から依頼してください。
- ・推薦書のファイル名を「〇〇〇〇-202104SGCFS推薦書-△△△△」（〇〇〇〇は被推薦者の氏名、△△△△は推薦書作成者氏名）としてください。
- ・送信メールの件名を「〇〇〇〇-202104SGCFS推薦書-△△△△」としてください。

（送信先Emailアドレス） nwu-sgc@cc.nara-wu.ac.jp

- ・申請書、推薦書の提出を受けた場合、受領した旨の返信メールをお送りします。
- ・4月9日（金）17：00 までに上記の返信メールが届かない場合、メールまたは電話で、「10. 問い合わせ先」に確認してください。

10. 問い合わせ先

〒630-8506 奈良市北魚屋西町

奈良女子大学 学務課大学院係

（奈良女子大学博士号取得支援SGCフェローシップ担当）

Tel/Fax 0742-20-3208

Email nwu-sgc@cc.nara-wu.ac.jp

URL <http://www.nara-wu.ac.jp/daigakuin/index.html>